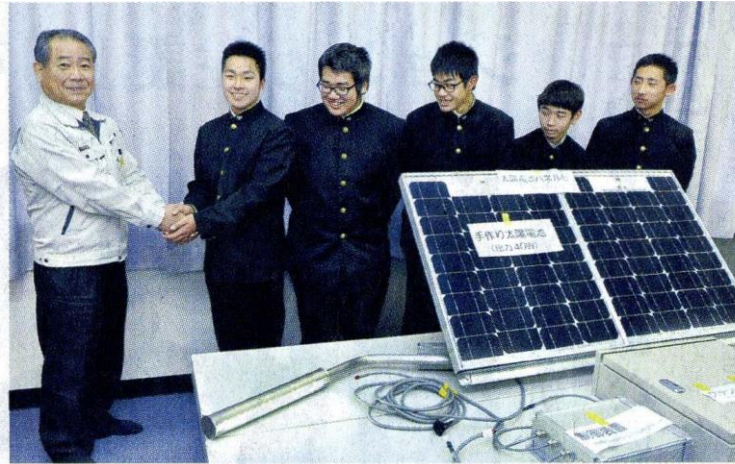




ものづくりで 地域貢献！

高知新聞

造船科



須崎工高生が製作した街灯の贈呈式
（須崎市大間本町）

太陽光街灯製作し寄贈
須崎工高生 通学路のJAに

【須崎】南海トラフ地震などの災害に備え、須崎市の須崎工業高校の生徒が太陽光発電式の街灯1基を製作した。通学路近くにある、JA土佐くろしおの直販所の駐車場に設置される予定で、贈呈式がこのほど行われた。

住民の要望を受け、地元の「多ノ郷地区青少年を育てる会」などと学校側が話し合い、街灯の設置が決まった。造船科の3年生5人が課題研究の一環で、昨年夏ごろから製作に取り掛かった。

生徒たちは太陽光発電パネル2枚と、それを載せる取り付け台を手作りした。バッテリーや制御機器などは、避難誘導灯を製作している土佐通信（土佐市）の製品を使った。夜間になると発光ダイオード（LED）照明が自動で点灯する。

須崎市大間本町の多ノ郷公民館で贈呈式が行われ、生徒たちが同JAの森光幹男組合長らに目録を手渡した。土井卓己さん（18）は「壊れないように丁寧に溶接して作りました。地域の役に立ってほしい」と話していた。

街灯の設置費用は、「育てる会」などが負担するという。

（山本 仁）